

トピックス

「製薬協フォーラム」は、去る12月4日(木)、経団連会館において、国会議員、行政、関係団体、患者会、オピニオンリーダーおよび報道関係者など約300名の招待客の出席のもと盛会裡に開催されました。当フォーラムは製薬協に関係する各界のリーダーと会員企業の代表者が一堂に会して意見交換を行うことを目的として毎年この時期に開催され、今年で9回目を迎えることができました。

第一部の講演会では、日本経済のグローバル化対応の重要性についての提言として、経済財政諮問会議をはじめ、政府の経済政策形成に深くかかわってこられた東京大学大学院経済学研究科経済学部教授植田和男先生より、「曲がり角にきたグローバル化と日本経済：金融危機と今後」というテーマで講演がありました。

製薬協は、日本オリジンの新薬を「創り」、「育て」、患者さんにいち早く優れた新薬を「提供」し、合わせて国際競争力のある産業として日本経済の一翼を「担う」ことが日本の製薬産業が目指すべき姿だと考えています。そのために会員企業は、研究開発への投資

とともに、欧米、アジアを中心とする海外事業の強化に注力してきているところです。しかしながら、世界経済は予想もしえなかった激動の波が押し寄せています。米国のサブプライム・ローン問題に始まった金融危機が、株式市場を含む幅広い金融資本市場に世界中で影響を与えているとともに、その実体経済への影響も深刻になりつつあります。講演の中では、日本のような国際分業に依存せざるを得ない国にとっては、積極的に財・サービス・資金の健全な国境を越えた動きを支持していくことが肝要であること、さらにはグローバル化を再度見直し、この金融危機を乗り切っていく対応策についても、アップデートな資料をもとにわかりやすい説明がありました。



東京大学大学院経済学部教授
植田 和男先生の講演



国際会議場の講演全景

第9回「製薬協フォー



厚生労働省を代表して挨拶する
大村 秀章 厚生労働副大臣



自由民主党・丹羽 雄哉 衆議院議員の
挨拶



自由民主党・鈴木 俊一 衆議院議員の
挨拶



自由民主党・尾身 幸次 衆議院議員の
挨拶



日薬連・竹中会長の乾杯の発声により開宴



庄田会長の挨拶



多くの国会議員の出席で賑わう会場

第二部の懇談会では、庄田会長の主催者挨拶、厚生労働省を代表し大村秀章厚生労働副大臣の挨拶に続いて、自由民主党からは丹羽雄哉衆議院議員、鈴木俊一衆議院議員、尾身幸次衆議院議員より挨拶が

あり、また、公明党を代表して福島豊衆議院議員、民主党を代表して足立信也参議院議員、日本医師会を代表して今村聡常任理事(唐澤会長代理)といった多くの来賓から製薬産業に対する期待と激励の挨拶

ラム」懇談会 会場風景



甘利 明 内閣府特命担当大臣の挨拶



公明党・福島 豊 衆議院議員の挨拶



民主党・足立 信也 参議院議員の挨拶



日本医師会を代表して
今村 聡 常任理事の挨拶



庄田会長との歓談風景



歓談の輪がひろがる会場風景

がありました。竹中登一日本製薬団体連合会会長による乾杯の発声で開宴となり、満員の会場は多くの参加者の熱気が溢れ懇談の輪が会場一杯にひろがりました。内藤副会長による中締め挨拶後も名残を

惜しむ歓談が続き、大盛会のうちに第9回製薬協フォーラムは終了しました。

(事務局長 石井 誠司)